

平成24年度

## 【1】

題名	尊敬するお父さん
本人氏名	林 日奈里（はやし ひなり）
性別	女
年齢	12
候補者との続柄	子

お父さんは、お仕事がある日、だいたい、私が学校へ行くとき、家を出た後に、たくさんの仕事が残っている、仕事場の吉川工務店へ行きます。

私は、学校が楽しく、楽しみだから行っているけど、お父さんは、いつも、どんな気持ちで工務店へ行っているんだろうなと思っています。

やっぱり、仕事はめんどくさくて、イヤだなーと思うのでしょうか。楽しくはないのでしょうか。学校でも、先生にしかられたり、下級生にバカにされたり、友達とケンカをすることもあるけれど、お父さんも、仕事の上司の方や、年上の方におこられることや、年下の人にバカにされたり、ケンカをすることもあるのでしょうか。

私も、もうすぐ中学生になります。先ばいの方とのはなし方や付き合い方が、あまりよく分からなくて、とっても不安ですが、お父さんも、仕事仲間の方や、先ばい、年上の方とのはなし方、付き合い方は、難しいのでしょうか。

お父さんは、吉川工務店の中でも、てっこう部という所で働いていて、主に、図面を書いたりしています。家に帰ってきてからも、家で仕事の図面を書いているときもあります。お父さんは、その図面を見て、他の人が、建物をつくりやすいように、ていねいに、くわしく、きれいに書いています。

そして、毎日夜おそくまで仕事をしていて、おいでん祭の日がちかくなってくると、おみこしにつかうキャラクターなどの許可をもらい、いろいろなアイデアで、毎日、とてもカワイイ、びっくりするしかけのおみこしをつくっています。おいでん祭の日は、私も、家族みんなも、とても楽しみにしています。おみこしが始まると、お父さんはとってもカッコイイです。

そんなお父さん。昔は、板前さんを目指していたらしく、板前さんを目指していただけあって、お父さんのつくるご飯は、とおもおいしくて、まるでレストランのご飯のようです。

お父さんは、毎日毎日、とおもいそがしいと思うけど、今のお仕事をやっているお父さんはとってもカッコイイです。だから、これからも、お仕事がんばってほしいと思います。

【2】

題名	私から見たお父さんの仕事
本人氏名	今 美穂（こん みほ）
性別	女
年齢	13
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは、建設会社の(株)高橋工務店で働いています。道路工事や砂防ダムなどを造る仕事をしています。</p> <p>毎日朝早くから夜遅くまで一生懸命家族のために頑張ってくれています。朝は綺麗な作業服を着て行ったはずなのに夜帰ってくると泥まみれになっている事もあります。家ではあまり仕事の話はしないけど、ちょっと疲れた顔をしている時や作業服が汚れているのを見ると一生懸命働いているのだなぁと私はいつも思います。</p> <p>お父さんは、砂防工事の仕事で自宅近くの集落に砂防ダムを造る仕事をしました。その時は、いつもより朝早く出掛けて行ったり残業で帰りが遅くなる事が多くとても大変そうだったけれど、砂防ダムが完成した時にお父さんの満足そうな笑顔を見るとこれまでの疲れや大変だった事が吹っ飛んでしまっているように思えました。</p> <p>お父さんは、仕事で疲れているのに夜は地区委員の事で地域活動もやっているし、地元の消防団活動も一生懸命やっています。私はお父さんが仕事や地区行事の事そして消防団活動も、仲間の皆さんと共に協力し合って頑張っているお父さんをととても尊敬します。私も、お父さんが仕事をした砂防ダムの完成を見に行きましたが、仕事をされた皆さんとのチームワークがなければ、こんな素晴らしい砂防ダムは造れない、お父さん達は、凄いて思います。私もお父さんを見習って、学校の仲間や地域の人達と協力し合って一步一步進んで行きたいと思います。</p> <p>お父さんを見ていると、仕事では色々大変そうだけど、仕事にやり甲斐を感じながら何事にも一生懸命なお父さんが格好良いと思うし大好きです。これからもお父さんもお父さんと同じような仕事をされている方々も体には気をつけて頑張ってくださいと思います。</p>	

## 【3】

題名	父から学んだ父の仕事
本人氏名	高松 諒（たかまつ りょう）
性別	男
年齢	16
候補者との続柄	子

僕は父の仕事をとても凄い仕事だと思っています。その理由というのは、自分のとても身近なところで父の仕事はカタチになっているということです。具体的には、自分が歩いている道路や橋などといったものは、父たちが携わっています。最初にその話を父から聞いた時には、本当に父は凄いことをしているのだなと誇りに感じました。

父から仕事について、聞いたりもしました。仕事の中で難しいことは、天候や自然の条件で仕事が進まなかったりすることだと言っていました。逆に、嬉しいことも聞きました。それは、自分たちの仕事の一つのカタチとなり人々の役にたっているのだと言っていました。さらには地図に残っていくのだと。僕はそれらを聞いて、確かにそのとおりののだなと納得できました。

何度かの父の仕事を見たりもしました。仕事から帰ってきた父の作業服が、とても汚れている日もありました。雨の日でも関係なく仕事場を見に行ったりもしていました。

僕は父の仕事を見たり聞いたりして、とても大変な仕事なのだと感じています。ですが、それと同時にカタチになった時の喜びや達成感は仕事をしてみないとわからないなと思いました。そんな仕事をしている父を見て、この仕事はやりがいのある良い仕事だと感じています。

## 【4】

題名	わたしから見たお父さんの仕事
本人氏名	山根 実紗（やまね みさ）
性別	女
年齢	17
候補者との続柄	子
<p>私の父は造園技能師です。主に庭の施工や樹木の剪定、石積み、また手先が器用で竹細工もよく作ります。仕事中は寡黙で厳しい父ですが、家に帰ると、ソファに寝転がってテレビを見て親父ギャグを飛ばす父に変身します。家事はほとんどしません。ですが、それは仕事で体が疲れているからだと分かっています。そして次の日の朝には、いくら体がつらくても現場に行きます。この仕事は天候に左右されやすいです。夏は暑いし、冬は寒いしで現場に行きたくない日だってあるはずなのに、どうして毎朝体を起こして仕事に行くことができるのか父に聞くと、「家族のため」「仕事中は疲れを感じないが、家に帰るとどっと出る。毎日その繰り返し」と答えました。</p> <p>そんな父の仕事ですごいと思ったところは、竹細工の竹箒はホームセンターに売られている箒よりも柔らかく、掃きやすいように作られていたり、2001年に開催された山口きらら博で父が手掛けたししおどしは、同じ音ではなく音程を少しずつ変えたり、鳴るタイミングをそれぞれ変えたりなどの遊び心や、細かい部分にまでとことんこだわるところです。また、父が剪定する庭の家の方から「また庭をよろしく願いますと伝えてください」や「山根さんでないとあの松は駄目だ」という声を聞くと、たくさんの人を喜ばせる父はやはりすごいと思わされます。</p> <p>いろいろな人に感謝され喜ばれる仕事をする父は私の自慢の父です。私も、父のように周りの人の役に立てるような職業に就きたいです。</p>	

## 【5】

題名	働く父の背中を見て
本人氏名	六山 栞（ろくやま しおり）
性別	女
年齢	19
候補者との続柄	子
<p>私が尊敬している人は、建設業で働く私の父です。父は、18年前からインフラ工事、つまり高速道や電車などの公共機関を作る仕事をしています。その中でも、安全衛生管理者として現場に指示を出し、いろいろな管理をしながら自らも働く、それが私の父です。</p> <p>父は毎日毎日朝早くからバイクに乗り、1時間以上かかる現場まで通勤し、帰りも夜遅くまで一生懸命働いています。雨が降ろうと、寒くて私がこたつから出られない大雪の日も文句ひとつ言わず仕事に出かけます。台風が来れば、現場を守るために仕事に向かい、溶接で火傷して帰ってくることもよくあります。そしてお給料は私たち家族のために全て家にいれてくれています。休みの日には家のことも手伝ってくれます。</p> <p>父は安全衛生責任者としてQCDSつまり品質、費用、工期、安全を常に考えなければなりません。工期に間に合わないときは徹夜で働き、日曜出勤もあります。いつも物事を多面的に見て人を動かすことは、すごく大変なことだと思います。</p> <p>父がよく言っている言葉に山本五十六の“やってみせ、言って聞かせて、やらせてみせ、ほめてやらねば人は動かじ”という言葉があります。私も部活動のリーダーや体育祭のブロック長などで人の上に立ったことがあります。人をまとめるためにはまず自らが見本になり、責任ある行動をとらなければ誰もついてきません。たとえ、それが出来ていても社会にはいろいろな人がいるので、人をまとめるのは難しいものです。私も何度も悩んだことがありました。だから、父はそれを実践出来ていて素晴らしいと思います。そして皆の協力で、やっと公共機関が完成するのです。</p> <p>もしインフラが発達していなかったらどうでしょう？私たちの通勤や通学が不便になり、企業の作った製品を輸送する手段がなく工場が発展しません。日本はインフラが発達しているため私たちが毎日快適な生活を送れているのです。これは建設業の方々のおかげです。人は一人では生きていけません。だから感謝の気持ちがすごく大切だと感じました。夏場の汗で絞れる作業服は汚いものではなく、むしろ“ありがとう、作業服様”の気持ちを持つべきだと思います。</p> <p>働く父を見て私は自然に責任、感謝、努力、挨拶を学び育ちました。また、普段は細かいことを言わない父ですが、挨拶だけはうるさく言われました。挨拶は人として社会で生きるために一番大切であり、それが仕事などに影響してくると思います。こんな父の娘に生まれて、素晴らしい父の背中を見て成長できたことを私は誇りに思います。これからも、頑張りすぎず、健康にはくれぐれも気をつけて、社会の皆のためにいい公共機関を作って行って下さい。私も父のように社会に貢献できる立派な大人になりたいと思います。</p>	

## 【6】

題名	私の父の仕事
本人氏名	中村 優（なかむら ゆう）
性別	女
年齢	19
候補者との続柄	子

私の父は、工事現場で働いています。仕事内容は、ポンプ関係の設備工事をしています。

以前、父と車で出かけたときに『線路をくぐる道路の立体交差は、なんで雨が降っても水が溜まらないと思う？』と聞かれたことがありました。

私は、なんで？と思いましたが、結局なぜだかはわかりませんでした。父に聞くと、『立体交差点にはポンプが設置してあり、水が溜まる前に排水しているので水が溜まらないんだよ。』と教えてくれ、そのようなポンプ設備をつくる現場が父の仕事だと初めて知りました。

その他にも立体交差点に設置されるポンプ設備には、発電機がついていて台風などの大雨時に停電になったとしてもポンプは排水できるとのことでした。

その話を聞くまで立体交差点のことなど気にもしませんでした。父の仕事は、私たちが生活している中で目立ちはないけど必要不可欠なものだと思いました。

見えないところで人々の生活を支える仕事をしている父は、私にとって世界で一番誇れる父です。

父は、私たち家族のために毎日、朝は私が起きるより早く仕事に行き、夜は遅くまで仕事をし帰ってきます。

そんな父には、感謝の気持ちでいっぱいです。

体には気を付けて健康第一でこれからもがんばって下さい。

『毎日、ありがとう。お父さん』